

高鷲村と下川町のあゆみ(1)

「会報高鷲の文化財 92号」で下川町の概要を述べたが、その時に母村の高鷲村はどうであったかを、調べてみました。

年号	高鷲村	下川町
1855 安政2	鷲見上ヶ野で濃飛国境改めに伴い耳切事件発生	
1859 (安政4)		松浦武四郎が箱館奉行に命じられて天塩川流域を踏査、名寄川及びサンル川まで至り、「天塩日記」を著す。
1872 (明治5)	村の人口約 3800 人となる。	開拓使宗谷支庁中主典の佐藤正克が名寄川を拠点に翌年まで越冬調査を行い、後に「闘幽日記」を著す。
1875 (明治8)	鮎立村、大鷲村、鷲見村設立。人口 4029 人となる。	
1876 (明治9)	鷲見村から西洞村分離独立	
1888 (明治21年)		名寄川沿原野に植民区画が設定される。
1897 (明治30)	4ヶ村合併し、高鷲村となる。人口 4813 人、初代村長 杉本次兵衛	天塩国上川郡に剣淵、士別、多寄、上名寄の各村が置村、現在の下川町は上名寄村に属する。
1899 (明治32)	蛭ヶ野湿地を横断する百川街道完成。野村丈太郎村長就任。	天塩国川上郡を川上支庁に編入。各村戸長役場設置
1901 (明治34)	北海道開拓の為、古屋太郎右衛門を団長に 24 戸、68 名が上名寄に移住。村内人口 4793 人。	郡上郡高鷲村及び北濃村から 25 戸の開拓団が名寄原野 16 線 - 19 線に集団移住する。(開拓元年)
1902 (明治35)	第2陣として北濃村より市村嘉助ら下川村へ移住。屯田兵制度廃止。	上名寄村、多寄村、下名寄村戸長役場設置。
1903 (明治36)	杉山井一郎村長就任	水稲試作される。バンクカチン駅通、ソリベツ駅通が開設。
1905 (明治38)	野村丈太郎村長就任、高鷲小学校に業補修講習所併設。	バンクカチン駅通を下川駅通に、ソリベツ駅通をそれぞれ改称する。(下川の最初の呼称)。五味温泉の発見される。
1906 (明治39)	下田平三村長就任	下川簡易教習場(後の下川小学校)開設される。
1907 (明治40)		下名寄外 1ヶ村を割き、上名寄外 1ヶ村他戸長役場設置する。
1909 (明治42)		多寄村から離れ、上名寄村となる。
1910 (明治43)	高鷲村青年会組織	
1911 (明治44)	向鷲見に小学校新校舎新築。天・小洞分校開設。	
1915 (大正4)	杉山井一郎村長就任	上名寄村が名寄町になる。
1920 (大正9)	人口 3318 人	名寄～下川館の鉄道開通する。

上寄

閉

1921 (大正 10)	長野新田開墾開始。向鷲見大火。向鷲見・切立点灯。清水実文村長就任	
1922 (大正 11)	正ヶ洞大火、人口 3504 人	
1924 (大正 13)		名寄町に名寄原野 11 線以東を分村して上川郡下川村となる。三浦留五郎村長就任
1926 (昭和元)	人口 3712 人	柵瑠鉦山が三井鉦山による操業開始。
1931 (昭和 6)	百万円道路開通 人口 3508 人	千田貞二村長 倉本壬生造村長
1932 (昭和 7)	高鷲村が更生計画村に指定される。	寺田秀一村長、中江庄三朗村長
1939 (昭和 14)	県開拓課より満州入植説明。野村孝太郎満州視察。	森岡幸作村長
1940 (昭和 15)	下村実文村長下川村に赴き、満州開拓移住を募集。下村実文村長下川村に赴き、満州開拓移住を募集。 人口 3572 人	高鷲村の下村実文村長が下川村に赴き、満州開拓移住を募集。(40 戸渡満)
1941 (昭和 16)	野村団長以下 23 名が先遣隊として琿春高鷲村開拓団入植。本隊 90 戸入植 (内下川村は 40 戸)	下川鉦山が三菱鉦業株式会社による操業開始
1942 (昭和 17)	大日道場 1 棟建つ。	
1943 (昭和 18)	満州移民本格着手。馬鈴薯自給のため蛭ヶ野高原など本格開墾開始。更生計画立案。	
1944 (昭和 19)	後続満州移民本隊送出着手。	宮地誠次村長
1945 (昭和 20)	琿春開拓団に避難命令でる。復員者、引揚者が開拓入植を目的に大日道場へ入居する。人口 3995 人	
1946 (昭和 21)	琿春高鷲開拓団帰還・帰国 (353 人)。蛭ヶ野・上野・切立大規模開拓入植事業始まる。上村弥平村長就任	
1947 (昭和 22)	開拓反対村民大会開催。新制高鷲中学校開設。上ヶ島増雄村長当選。	下川中学校開校 末武次郎吉村長
1948 (昭和 23)	高鷲村農業協同組合発足。大日開拓農業組合開組	名寄農業高等学校下川分校開校。
1949 (昭和 24)	高鷲中学校校舎新築。 人口 3406 人	町制を施行し下川町となる。 末武次郎吉町長
1953 (昭和 28)	蛭ヶ野にブルドーザー始めて導入。	宮地誠次町長
1954 (昭和 29)	大日山麓乳牛育成組合設立。乳牛 29 頭導入 (酪農に第一歩)	
1957 (昭和 32)		下川市街大火発生する。
1959 (昭和 34)	自衛隊演習場問題発生する (~1967 終結)。養島政一村長となる。	
1963 (昭和 38)	38 豪雪 (蛭ヶ野 360cm)	村上貞次郎町長
1965 (昭和 40)	牛乳パイプライン埋設する。高鷲小学校新築。人口 3871 人	
1968 (昭和 43)	大根栽培盛んとなる。村制 80 周年及び明治 100 年記念祭。	
1972 (昭和 47)	高鷲村役場新築移転する。大日岳スキー場開場。	人口 11586 人。